

学校教育目標「よりやさしく よりかしこく よりたくましく」

笑顔で登校 笑顔で下校 夢に向かって頑張る二小っ子

## 子どもは親の言うとおりにはない。親のするとおりになる。

今から20年ほど前の話です。当時勤めていた学校のすぐ下にお寺がありました。ちょうど私の子どもが小学生ぐらいの頃で、私は子どもを指導している立場ですから、我が子は私の言うとおりに育てないといけないと思っていたときでした。ある時、そのお寺に用事があったて出かけたとき、お寺の掲示板で見つけた言葉がこの言葉でした。私はこれを読んではっとしました。親がどんなに自分の言うとおりにしたくてもそうならないのは、親の後ろ姿を見て子どもは育つことからだということに気付かされた瞬間でした。

10年ほど前に勤務していた県立教育センターで、私は先生方の研修の中で、この言葉を使ってみました。「この言葉の中の『親』という言葉に『教師』という言葉に置き換えて考えてみましょう。」と言うと、ほとんどの先生方が「あ〜。」と納得の声を漏らし、思い当たる節があるような反応をしていました。1日の生活の中で考えると、朝8時ぐらいから夕方4時過ぎまで約8時間教師は子どもたちと一緒に居ることになります。子どもたちは家で親と居る時間という、平日では1時間か2時間あるのでしょうか。朝は子どもたちより早く出勤される保護者の方もおられるでしょう。帰りの遅い方もおられるでしょう。そうすると、実は子どもと一緒に居る時間が長いのは、教師ということになります。そう考えると、この言葉は大きな意味があり、教師の責任は重いということが分かります。しかし、子どもの教育については、教育基本法第10条家庭教育において、父母その他の保護者が第一義的に責任があると言っています。ここで、学校と家庭の連携が必要となってきます。連携というのは、学校は子どもの教育について自らの責任を自覚し、決して家庭のせいにするのではなく、保護者も我が子の教育に関して学校に責任を求めるのではなく、お互いが情報を共有しながら、子どもたちをよりよい方向に教育していくことだと思います。願うのは子どもたちの幸せであり、これは学校も保護者も同じではないかと思えます。学校としても、教師一人一人が自分の後ろ姿で子どもたちに教育ができるよう頑張っていきたいと思えます。保護者の皆様におかれましても、子どもたちの教育について、学校と家庭での『共育』にご配慮いただければと思います。

## おもな7月行事

- 1日 (木) …全校朝会
- 2日 (金) …授業参観・学級懇談会
- 3日 (土) …土曜授業
- 5日 (月) …学力向上タイム・3年放課後補充教室
- 8日 (木) …わくわく集会
- 12日 (月) …学力向上タイム・3年放課後補充教室
- 14日 (水) …地区児童会
- 15日 (木) …学年集会
- 20日 (火) …終業式・大掃除
- 21日 (水) …夏季休業日～8/31

### 相談窓口

- ・教育全般に関すること…森
- ・体や心の健康に関すること…宮崎
- ・成長や発達に関すること…津江

子どもたちのことに関する窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。

## 授業参観・学級懇談お世話になります。

7月2日金曜日は、一学期最後の授業参観です。先日プリントでも配布しておりますが、再度お知らせします。

期日 令和3年7月2日(金)

時間 14:05～14:50 授業参観

14:50～15:05 帰りの会

15:10～16:00 学級懇談

※駐車場は運動場です。雨天でも運動場になります。その際は、ゆっくりとした出入りをお願いします。